

寄贈図書リスト

文系でもよくわかる 世界の仕組みを物理学で知る、
松原隆彦著、四六版、208ページ、1,400円＋税、
山と溪谷社

ブラックホール宇宙物理の基礎、小島康史 小出眞路
高橋芳太著、A5判、404ページ、3,800円＋税、
日本評論社



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

九州大学大学院理学研究院 物理学部門 基礎粒子系物理学講座 教授

1. 2018年9月（第111巻第9号）
2. 山本一博（広島大学・大学院理学研究科・准教授）
3. 2019年4月1日

東京大学大学院理学系研究科附属 天文学教育研究センター教員

1. 2019年2月（第112巻第2号）
2. 高橋英則（東京大学大学院理学系研究科・特任助教）
3. 2019年4月1日

研究会・集会案内

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター ／国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局 第10回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市に跨ってある32mパラボラアンテナ2基は、衛星通信アンテナから電波望遠鏡へのアップグレードがなされ、日本・東アジアVLBIの主要施設として、国際的に優れた天文学研究の成果を上げて

います。

子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え、今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日 時：2019年4月21日（日）11-15時（雨天決行）

場 所：茨城県高萩市石滝627-1

（さくら宇宙公園内）

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主 催：茨城大学

共 催：国立天文台

後 援：高萩市教育委員会（いきいき萩っ子育成事業）、高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観光物産協会

協 賛：茨城県北ジオパーク推進協議会

内 容：パラボラアンテナ施設見学（11:00-15:00）、4次元シアター（11:00-12:30）、講演「スーパーコンピュータで探る太陽系の起源」（小久保英一郎 [国立天文台理論研究部 教授]）（13:30-15:00）

受 付：施設見学は開催時間中随時受付。講演会は先着100名13:00より受付。

参加料：無料

アクセス：

[1] 鉄道：JR常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学園高萩キャンパス前（約8分）下車、徒歩約10分

[2] 乗用車：常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより

高萩市街方面約15分 9km、明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり 600m先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可

注 意：アンテナ見学は動きやすい服装，靴で参加ください。

問合せ：茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター

〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

メールアドレス：infoast@ml.ibaraki.ac.jp

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

国立天文台野辺山宇宙電波観測所 「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45 m電波望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います。当観測所は、45 m望遠鏡を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果をあげています。この「電波天文観測実習」は、最先端研究に携わる研究者の指導のもと、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45 m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのがねらいです。参加者には普段研究者が行っている45 m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をお持ちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2019年6月3日(月) 13:30～6月7日(金) 11:30 (4泊5日)
2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所 (JR小海線野辺山駅から徒歩40分)
3. 定員：8名程度
4. 対象：大学の理系学部（教育学部の理系も含む）に属する学生（1～4年生）
5. 費用：旅費・滞在費がサポートされる可能性があります
6. 応募方法：住所、氏名（ふりがな）、所属大学および学部・学科、学年、生年月日、年齢、性別、電話番号、E-mailアドレス（持っている場合）を明記の上、以下の(1)～(4)に回答し、**4月15日(月)**必着で下記の応募先まで送付してください。なお、送付された資料は返送いたしません。

(1) 大学で物理実験の経験がありますか？

(2) (1)で「はい」と回答された場合、一番印象に残った実験は何ですか？どのよう点で印象に残ったのですか？

(3) あなたが持っている天文学への想い・イメージについて何でも結構ですでお書きください（600字以内）

(4) 実習に参加希望の理由は何ですか？（600字以内）

7. 選考結果：5月初旬頃、郵便で発送 ※6の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと

8. 応募先・お問い合わせ先

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」

※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書してください

TEL: 0267-98-4332

ウェブサイト

<http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

会 務 案 内

公益社団法人日本天文学会

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)

事業計画書と予算書

2019年1月26日(土)に開催された代議員総会で2019年度の事業計画書と予算書が承認されました。事業計画書と予算書は電子版で天文学会ホームページ(<http://www.asj.or.jp>)で公開しております。ホームページ左側のサイドバーの情報公開からたどれます。書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

公益法人日本天文学会2019年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりで、欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。2019年度はこれらの定常的事業に加えて「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行、インターネット天文学辞典の編集、IAU創立100年記念シンポジウムの開催を予定しています。また、2019年度は代議員選挙(2020～2023年度)を行います。

日本天文学会2019年度予算書の概要

公益社団法人として保有上限額が定められている遊休財産額を適正額に維持することを考慮しつつ、事業

計画に基づき予算書を作成しました。全体として事業収益が99,627千円に対して事業費用114,325千円と費用が収益を上回っています。主な概要は以下のとおりです。

欧文報告事業は引き続き収益が費用を上回っています。2017年度から値下げしていましたが正会員年会費が2019年度も引き続き暫定的に15,000円に値下げされます。このため会費収益が若干減少しています。経常費用については、学会ホームページおよびサーバの維持管理費用、インターネット天文学辞典の運用改訂費用といった新しい長期的な費用を含む定常的費用に加えて、事業計画に基づき「シリーズ現代の天文学作成経費」、「IAU100周年記念シンポジウム経費」などを計上しています。

(文責庶務理事：伊王野大介，会計理事：早野裕)

PASJ 論文別刷の注文受付終了のお知らせ

欧文研究報告 (PASJ) では、別刷を廃止することになりました。この方針は2019年6月25日以降に受取られた論文から適用いたします。

学術論文出版のより一層の電子化に伴い、PASJの制作を委託するOxford University Press社 (OUP) では同社の方針として別刷の制作を全面的に廃止することになりました。

PASJにおいても、最近では別刷の注文数が年間数件にまで減っている状況を鑑み、OUPの方針に同意し、別刷を廃止することにいたしました。ただし、別刷としてではなく個別の印刷 (リプリント) は引き続き注文可能です。リプリントは、別刷のように各号の紙版印刷とともに製作するのではなく個別に印刷するため費用は割高となります。

今後、著者の皆様には紙の別刷に代わり、是非、フリーアクセスURLをご活用ください。フリーアクセスURLは、OUPにおいて出版される各論文に対して発行され、オープンアクセス論文でなくてもアクセス制限なく掲載論文の電子版 (全文) を閲覧することが可能です。WebサイトやSNSなどによる広範なフリーアクセスURLの配布は禁止されていますが、共著者や共同研究者の方々などとの共有にご利用ください。

欧文研究報告編集委員会

会務案内

2018年度日本天文学会各賞について

2018年度日本天文学会各賞は、2019年1月26日の代議員総会で次のように決定しましたのでご報告いたします。

◇林忠二郎賞 (1氏)

大栗真宗 (おおぐりまさむね) 氏: 東京大学大学院理学系研究科附属ビッグバン宇宙国際研究センター・助教
研究の表題「重力レンズ天文学への基礎的貢献」

◇欧文研究報告論文賞 (1編)

論文題目: The Subaru FMOS galaxy redshift survey (FastSound). IV. New constraint on gravity theory from redshift space distortions at $z \sim 1.4$

著者: Teppei Okumura et al.

出版年等: Vol. 68, No. 3, article id. 38 (2016 April)

◇研究奨励賞 (3氏)

- ・澁谷隆俊 (しぶや たかとし) 氏: 北見工業大学工学部・特任助教
研究の表題: 「大規模観測データを用いた高赤方偏移銀河の統計的研究」
- ・仏坂健太 (ほとけざか けんた) 氏: プリンストン大学宇宙科学研究科・Lyman Spitzer Jr. Fellow
研究の表題: 「連星中性子星合体の電磁波対応天体に関する理論的研究」
- ・武藤恭之 (むとう たかゆき) 氏: 工学院大学基礎・教養教育部門・准教授
研究の表題: 「惑星とガス円盤間の相互作用に関する理論的研究とそれに基づいた原始惑星系円盤の観測的研究」

◇天体発見賞 (8氏・1グループ (2氏), 20件)

- ・板垣公一 (いたがき こういち) 氏 8件
超新星2018gvの発見, 超新星2018iqの発見, 超新星2018zdの発見,

超新星 2018aaz の発見, 超新星 2018enb の発見, 超新星 2018hna の発見,
超新星 2018imd の発見, 超新星 2018imf の発見

- ・西村栄男 (にしむら ひでお) 氏 2件
新星 V1661 Sco の発見, 新星 V1662 Sco の発見
- ・坪井正紀 (つばい まさき) 氏 2件
超新星 2018pv の発見, 超新星 2018apk の発見
- ・小嶋正 (こじま ただし) 氏 2件
新星 V3664 Oph の発見, 新星 V5857 Sgr の発見
- ・西山浩一 (にしやま こういち) 氏, 梶島富士夫 (かばしま ふじお) 氏 1件
新星 V3665 Oph の発見
- ・中村祐二 (なかむら ゆうじ) 氏 2件
新星 V435 CMa の発見, V392 Per の新星爆発の検出
- ・田中勇司 (たなか ゆうじ) 氏 1件
超新星 2018ast の発見
- ・櫻井幸夫 (さくらい ゆきお) 氏 1件
新星 V613 Sct の発見
- ・岩本雅之 (いわもと まさゆき) 氏 1件
彗星 C/2018 Y1 (Iwamoto) の発見

◇天体発見功労賞 (5氏, 6件)

- ・西村栄男 (にしむら ひでお) 氏 2件
新星 V3665 Oph の独立発見, 新星 V5857 Sgr の独立発見
- ・小嶋正 (こじま ただし) 氏 1件
新星 V3665 Oph の独立発見
- ・中村祐二 (なかむら ゆうじ) 氏 1件
新星 V5857 Sgr の独立発見
- ・藤川繁久 (ふじかわ しげひさ) 氏 1件
彗星 C/2018 V1 (Machholz-Fujikawa-Iwamoto) の独立発見
- ・岩本雅之 (いわもと まさゆき) 氏 1件
彗星 C/2018 V1 (Machholz-Fujikawa-Iwamoto) の独立発見

◇天文功労賞

長期的な業績 (1氏, 1件)

- ・吉田誠一 (よしだ せいいち) 氏
「彗星観測データベースのオンライン普及と新天体自動検索プロジェクトの主導」

短期的な業績 (1氏, 1件)

- ・小嶋正 (こじま ただし) 氏
「ヘリウム激変星 SDSS J141118.31 + 481257.6 の珍しい増光の発見」

◇日本天文遺産

「明月記」

「会津日新館天文台跡」

◇天文教育普及賞

「黒田武彦氏」

「プラネタリウムの会 (山口県山陽小野田市・能勢俊勝代表)」

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内、「天文月報」のページにあります「投稿用Tex/MS Word テンプレート」をご活用ください。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtexテンプレートの中から文字コードに応じたものを、MSWordで執筆される方はword用のテンプレートをご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

※ BibTexに対応するテンプレートを作成しました。Overleaf用でLinux/Macにダウンロードしても使用できます。ぜひご活用ください。

訃 報

会員の武井良司氏は2019年1月22日にご逝去されました。満64歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol112** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕 (委員長), 上野悟, 江草芙実, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 嘉数次人, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 西塚直人, 萩原喜昭, 福井暁彦, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也
平成31年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社
定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2019年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)